

卵巣成熟奇形腫（デルモイドシスト）における幹細胞の多分化能に関わる遺伝子解析研究

この研究は、これまで受診された診療録や手術時の摘出組織を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表しません。

1. 研究の対象

2001 年 4 月～2018 年 12 月に当院で卵巣腫瘍摘出術の手術を受けられた方

2. 研究目的・方法

本研究の目的は、これまで卵巣腫瘍として病理診断した見出した 4 例の小奇形腫について、組織中に含まれる多分化能を有する幹細胞から分化成熟に関与する遺伝子を抽出し、奇形腫（良性腫瘍）と未熟奇形腫（稀な悪性の奇形腫）の発生機序を明らかにすることです。また、この研究により、将来的にヒトの分化成熟を制御するメカニズムの解明に直接つながるものと考えています。

研究期間は、施設院長承認後 ～ 2020 年 12 月 31 日です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

卵巣腫瘍の手術を受け、摘出卵巣の病理診断において、5 mm 以下の小奇形腫が認められた方を研究対象者として登録し、登録時以降に下記の情報を診療録・病理診断記録より収集します。また、卵巣摘出時の組織標本から連続切片を作り検討します。

情報：年齢、病歴、治療歴、病理所見、手術後の予後情報、等

試料：摘出卵巣組織

4. 外部への試料・情報の提供

本研究のデータ・病理組織標本を外部の協力施設に提供する際には、患者さまの個人情報とは別の識別コードで匿名化し、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。関係者外や外部施設への個人情報が漏洩することはありません。

5. 研究組織

研究代表者	湘南鎌倉総合病院	病理診断部・部長	手島 伸一
研究分担者	湘南鎌倉総合病院	産婦人科・主任部長、副院長	井上 裕美
研究分担施設	同愛記念病院	研究検査科・部長	岸 宏久
研究分担施設	武蔵野赤十字病院	病理部・部長	櫻井 うらら

遺伝子解析等担当 筑波大学附属病院 病理診断科 教授・部長 野口 雅之

ISH 委託機関 コスモ・バイオ株式会社

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら以下の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先の連絡先：

湘南鎌倉総合病院 病理診断部 部長 手島 伸一

〒247-8533 鎌倉市岡本 1370 番 1 ☎0467-46-1717

(2019 年 6 月 28 日作成)